

Microsoft SQL Server 2008 SQL Server Management Studio データベースバックアップ設定マニュアル

<Windows 環境>

1. 注意事項	1
2. データベースのバックアッププラン作成方法	2
3. データベースのバックアップ	8
4. データベースの復元方法について	11

1. 注意事項

このマニュアルは Microsoft SQL Server 2008 のバックアップ設定マニュアルです。 Microsoft SQL Server 2005 のバックアップ設定については別紙「Microsoft SQL Server 2005 バックアップ設定マ ニュアル」をご覧下さい。

作業を実施される前に以下の注意事項を確認して下さい。

- ① Administrator 権限ユーザーにて実施を行って下さい。
- ② SQL Server Management Studio は Microsoft 社のソフトウェアとなります、 Microsoft 社のホームページよりダウンロードが可能です。
- データベースサーバーにおいて作業を実施して下さい。
 ※WEB サーバー専用のサーバーには実施していただく必要はありません。
- ④ バックアップ中はサーバー負荷が非常に高くなり、製品の運用は控えていただく必要がございます。
- ⑤ バックアップスケジュールは運用形態に合わせてご計画ください。
- ⑥ ご利用の SQL Server の Edition により、バックアップ設定中にエラーが発生した場合は、以下の対処を実施します。
 - Workgroup

サービスパックの適用「SQL Server2008 SP1 以上」が必要になります。

定期自動バックアップの設定を行います。

バックアップスケジュールについては運用形態に合わせて設定してください。

① SQL Server Management Studio を起動してください。



② 対象のサーバー名の「管理」>「メンテナンスプラン」を右クリックし、「メンテナンスプランウィザード」をクリック してください。



③ 以下の画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



④「変更」ボタンをクリックしてスケジュールを設定してから「次へ」ボタンをクリックしてください。

「「メンテナンス ブラン ウィザード プランのプロパティを 選択 メンテナンス タスクのスケジュールを設定する方法を指定します。	
名前(M): MaintenancePlan I说明(D):	任意の名前、説明を入力してください。
 タスカごとに個別のスケジュールを使用する プラン全体で単一のスケジュールを使用するか、スケジュールを使用しない スケジュール: 不定期(要求時) (東京時) (東る(B) 次へ(N) > 完了(E) キャン 	「ジョブスケジュールのプロパティ」が 開きます。

⑤ 運用形態に合わせたスケジュールを設定してください。

📰 ジョブ スケジュールのプロ	미//구ィ - MaintenancePlan1>	
名前(N):	MaintenancePlan	→ 任意の名前を入力してください。
スケジュールの種類(S):	定期的	
指定日時に発生 日付(D):	2009/05/18 🔽 時刻(T): 1932-22 🚍	
頻度		
実行(C):	毎週	
間隔(R):	1 🚊 週	
	□月曜日(M) □水曜日(W) □金曜日(F) □土曜日(Y,	選択されたタスクを実行するスケ
	□ 火曜日(T) □ 木曜日(H)	
一日のうちの頻度 ――		
● 1 回(A):	0.00.00	
○ 間隔(∨):	1 時間 🔄 開始(T): 0.00.00	
	終了(G): 235959 <u>一</u>	
実行時間		
開始日(D):	2009/05/18 🔪 C 終了日(E): 2009/05/18 🚽	
	 ・ ・ ・	
概要		
【兑8月(P):	毎週日曜日の 0:00:00 に実行: スケジュールは、2009/05/18 に開始します.	
	<u> のK キャンセル へルブ </u>	

⑥ タスクの種類を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
 1 つ以上のメンテナンス タスクを選択(S): データベースの整合性確認 データベースの圧縮 インデックスの再構成 インデックスの再構築 統計の更新 履歴のグリーンアップ SQL Server エージェント ジョブの実行 データベースのパックアップ (完全) データベースのパックアップ (完全) データベースのパックアップ (完全) データベースのパックアップ (完全) 	「データベースのバックアップ(完全)」を 選択してください。 各タスクの詳細な情報は、選択している
 メンテナンス クリーンアップ タスク ジ データベースのバックアップ (完全) タスクでは、バックアップ元データベース、バックアップ先ファイ ルまたはテーブ、および完全バックアップの上書きオブションを指定できます。 ヘルプ(出) 〈 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E) キャンセル 	「打切説明が、画面下部に衣示されます。

⑦ 複数のタスクを選択された場合は、以下の画面で順番を指定することが出来ます。 「次へ」ボタンをクリックしてください。

メンテナンス タスクの順序を選択 タスクを実行する順序を指定しますか?	-
実行するタスクの順序を選択(S):	
データベースのバックアップ(完全)	
上へ移動(U)	下八移動(D)
◆ ノーテントへのパンプノン いたまり ダムクしは、ハラクトダンプナナーダンへン、ノ ルまたはテーブ、および完全パックアップの上書きオブションを指定できます。	19979775771
<戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)	*+>>セル

⑧ バックアップの設定画面が表示されるので、各項目を設定し「次へ」ボタンをクリックしてください。

「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「		
バックアップの種類(K): 完全 🔽 🔺		
データベース(D): 特定のデータベース	1	
ハックノッフ コンボーネント ・ データベース(E) ・ ファイルおよびファイル グルーブ(G): ・ パックアップ セットの有効期限(B): ・ 後(F) ・ 日付(N) 2009/06/01 ・ バックアップ先: ・ ディスク(D) ・ テーブ(P)	右端の▼をクリックして、これらのデータベー スより、「nidb6」にチェックをつけ、「OK」ボタン をクリックしてください。	-
 ・ 1 つじ人上のファイルにデータベースをバックアップする(S): iBD0(A)		
	こちらにチェックを付けて、追加ボタンをクリックしてファイル名の設定、 および、バックアップファイルが存在する場合 に行う操作で「上書き」を選択してください。	ッ う
スケジュール: 不定期(要求時) 文更(C) 文更(C) 文更(C) マ更(C) マ (スルプ(H) 〈戻る(B) 沐へ(N) 〉 完了(F) >> キャンセル		

⑨ バックアップファイルの保存先および保存ファイル名を入力してから「OK」ボタンをクリックしてください。
 デフォルトでバックアップ先フォルダまで指定済みとなっていますが、ドライブ名を含めたパスを確認し、ファイル名を最後に追記してください。

ディスクのバックアップ先 ・ ファイル名(E): C*Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL10.MSSQLSEF ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	参照ボタンをクリックし、展開した画面にて バックアップファイル名を任意入力します。 (例)Backup_full.bak
・ のK キャンセル	

(例)C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL10.MSSQLSERVER¥MSSQL¥Backup¥Backup_full.bak ファイルの拡張子は「.bak」となります。

⑩ レポートオプション画面が表示されるので、出力先を設定して「次へ」ボタンをクリックしてください。

簡 メンテナンス ブラン ウィザー	7	
レポート オプションの選 メンテナンス ブランのアクショ 選択します。	択 シのレポートを保存または配布する場合のオブションを	-
▶ レポートをテキスト ファイルに	書き込む(<u>W</u>)	
フォルダの場所(<u>O</u>):	C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MS	ISQI
□ レポートを電子メールで送信	id2(T)	
宛先(I):		~
<u> へいつ(円)</u>	< 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E) >> キ	やンセル

① 完了画面が表示されるので「完了ボタン」をクリックしてください。



12 進行状況で全ての状態が「成功」となったら完了です。

2	成功	5 合計 5 成功	O エラー O 警告
船	(<u>D</u>):	1 Nov	[
	アクション マンテナンフ プラン "MaintenancePlan1"	成功	メッセージ
	メンテナンス プランにタスクを追加	成功	
2	スケジュール設定のオプションの追加	成功	
0	報告のオプションの追加	成功	
0	メンテナンス プラン "MaintenancePlan1"	成功	
>	報告のオブションの追加 メンテナンス ブラン [«] MaintenancePlan1 [«] …	成功 成功	

※「nidb6」の設定が終わりましたら、再度①からの手順から、今度は「nidb6_files」のバックアップスケジュールを設定します。

3. データベースのバックアップ

SQL Server のメンテナンス作業を行う場合など、作業時点のバックアップを取得する場合に参照してください。

3-1. 定期バックアップを保存しているファイルに上書きする場合

『2. データベースのバックアッププラン作成方法』で設定した定期実行のバックアップファイルに上書きします。 すでに設定されているバックアッププランを使用するため簡単にバックアップを取ることができます。

① SQL Server Management Studio を起動して下さい。

「スタート」→「プログラム」→「Microsoft SQL Server 2008」→「SQL Server Management Studio」

- ② 製品がインストールされているサーバーグループを選択し、対象となるサーバーを開いて下さい。
- ③ データベースの一覧から「nidb6」、「nidb6_files」を右クリックし、メニューを開き、「タスク」の中の「データベースのバックアップ」を選択して下さい。



 ④ 製品データベース「nidb6」、「nidb6_files」が選択されていることを確認し、バックアップセットで「nidb5-完全 デ ータベースバックアップ」を選択し、「OK」ボタンを押します。

🧻 データベースのバックアップ - n	idb5				
ページの選択	S スクリプト - 🖪 ヘルプ				
☆ 全般 ☆ オブション	<u>ジス</u> データベース①	nidb5			弊社製品のデータベース「nidb6」 または「nidb6_files」が選択されて
	1累I日モテルい <u>例</u>): バックアップの種類(<u>K</u>):	FULL 完全			いることを必ず確認してください。
	バックアップ コンポーネント: © データベース(<u>B</u>)				
	○ ファイルおよびファイル グループ(<u>@</u>): バックアップ セット				
	名前(<u>N</u>): nidbt 説明(<u>S</u>):	テ完全 データベース バックアップ			
	バックアップ セットの有効期限: ・ 朝間指定(E):	= =			
接続 サーバー:	C 日時指定(2): 2009/02/05 バックアップ先	<u></u>		[バックアップ先が定期実行で指定
19216816678 接続 sa 野 <u>接続のプロパティを表示しま</u>	バックアップ先: ・ ディス: Ci¥Program Files¥Microsoft SQL Serv	70 (゜テーク(<u>P</u>) er¥MSSQL1¥MSSQL¥Backup¥nidb5	<u>追加(D)</u> 削除(<u>P)</u>		しているファイルになっていること を確認してください。
進行状況 準備完了					
		OK	**>1211 //		

⑤ 正常にデータベースのバックアップが終了されますと、以下のメッセージが表示されます。 以上で、データベースのバックアップが完了となります。

Microsoft SQL Server Management Studio	×
データベース 'nidb5' のバックアップが正常に完了しました。	
₽ <u></u>	OK.

3-2. 外付けの HDD などに直接データベースファイルのバックアップをとる場合

定期バックアップとは別に、外付け HDD など外部メディアにバックアップを取得する場合に参照してください。 SQL Server を停止する必要があるため、製品を利用できません。ユーザーに対して運用停止の案内を行ってか ら作業を開始してください。

① SQL Server を停止します。

SQL Server Management Studio で SQL Server を右クリックし、「停止」を選択します。



データベースをコピーし、バックアップを保存したいメディアに貼り付けます。
 弊社製品のデータベースファイル「nidb6.mdf」「nidb6_log.ldf」「nidb6_files.mdf」「nidb6_files _log.ldf」は通常 SQL
 Server のデータ格納箇所に配置されております。SQL Server を標準インストールした場合、データ格納場
 所は以下となります。

例) SQL Server インストールドライブ¥Program Files¥Microsoft SQL Server ¥MSSQL10. MSSQLSERVER¥MSSQL¥Data

③ ②の作業が終了したら、SQL Server Management Studio で SQL Server を右クリックし、「開始」を選択しま す。

4. データベースの復元方法について

データベースを復元する際は、以下の手順によりバックアップファイルより復元が可能です。

以下はバックアッププランにて取得したデータの復元方法の説明となります。

復元を実行している間、弊社製品を利用できません。ユーザーに対して運用停止の案内を行ってから作業を開始 してください。

※nidb6とnidb6_files を各1回ずつ実施する必要があります。

① nidb6 または nidb6_files を右クリックして、「タスク」>「復元」>「データベース」をクリックしてください。



② 以下の画面が開くので、復元するバックアップファイルを選択し、 画面左側のオプションをクリックしてください。

🧊 データベースの復元 - nidb5	
ページの選択	🔄 スクリプト 🝷 🛐 ヘルプ
ゴ 全裁 ゴ オブション	復元先
	復元する特定の時点(T): 最新の候補 …
	(復元用のソース
	復元するバックアップ セットの復元元ファイルと場所を指定します。
	 ● 復元元データベース(<u>R</u>): nidb5
	C テントイスカら@:
	復元するバックアップ セットの選択(E): 復元 名前 コンボーネント 種類 サーバー データベース ア nidb5_backup_20081024172804 データベース 完全 SKIWIN2003S nidb5
接続 サーバー:	ここで選択されているバックアップファイルの時点
ŚKIWIN2003S	こう まで) ニッペース内谷が戻ります。 日本のバックアップファイルを選択してください
接続: SKIWIN2003S¥Administrator	「「「「「「「」」」」、「「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、
- 野 接続のプロパティを表示しま す	初期表示で最新のファイルが選択されます。
進行状況	
準備完了	×
·	OK キャンセル

③ 既存のデータベースを上書きするにチェックをつけ、「OK」ボタンをクリックしてください。

🦉 データベースの復元 - nidb5	
ページの選択	🕼 スクリプト 🔹 📑 ヘルプ
公開 全般 「「」」 「」 「」 「」 「」 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 」 「 」 」 」 「 」 」 」 」	 (復元オブション) (復元オブション) (夏存のデータベースを上書きする(20) レフリケーションの設定を(保存する(20) 名バックアックを(現元する前に確認する(20) (復元するデータベースへのアクセスを制限する(20) 次のデータベース ファイルに(復元(5)) 元のファイル名 (夏元先 C¥Program Files¥Microsoft SQL Server C¥Program Files¥Microsoft SQL Server C¥Program Files¥Microsoft SQL Server
接続 サーバー: SKTWIN2003S	。 「割日状態 「コミットされていないトランザクションをロールバックして、データベースを使用可能な状態にする。別の トランザクション ログは復元できません。①VRESTORE WITH RECOVERY)
接続: SKIWIN2003S¥Administrator	○ データベースは操作不可状態のままで、コミットされていないトランザクションはロールバックしない。別のトランザクションログは復元できます。(A)\RESTORE WITH NORECOVERY)
野 接続のフロバティを表示します。 すう 進行状況	データベースを読み取り専用モードにする。コミットされていないトランザクションは元に戻されますが、 ② 復日結果を元に戻せるように元に戻す操作をスタンパイ ファイルに(保存します。 WRESTORE WITH STANDBY)
準備完了	スタンバイ ファイル(I):
	OK/

左下の進行状況が100%になると完了です、実行中はデータベースへのアクセスは出来ません。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了解ください。

○ 発行

2016年4月13日 第5版

